

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 令和1年7月31日

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原麻溝公園動物広場
指定管理者の名称	公益財団法人 ハーモニセンター
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日
施設設置条例の名称	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	相模原麻溝公園内ふれあい動物広場 : 動物舎12部屋490.55㎡、救護舎3部屋132.00㎡、ポニー舎1部屋340.52㎡、鹿舎1部屋90.00㎡、アライグマ・リスザル舎4部屋65.14㎡、牛・豚舎4部屋88.00㎡ 展示コーナー:常時30種以上の展示、ふれあい動物広場コーナー:常時5種以上配置、ポニー乗馬場:常時3頭以上配置
施設所管課の名称	公園課

2 管理実績						
項目(単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ポニー乗馬人数(人)	88,350	90,738	93,849	90,402	86,619	82,811
ポニー乗馬収入(円)	8,774,400	8,967,000	9,291,800	8,949,600	8,558,900	8,188,300

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	ポニー乗馬人数(人)
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度 = 実績値 / 目標値

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(人)	99,581	96,853	96,853	96,853	96,853	96,853
実績値(人)	88,350	90,738	93,849	90,402	86,619	82,811
達成度(%)	89%	94%	97%	93%	89%	86%

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価

指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	C	猛暑等の影響により、目標の達成はできなかったものの、引馬の呼びかけの園内放送を増やす等の工夫をしており、利用率の向上に向けた取組をしている点は評価できる。
事業・業務の履行状況	S	事業および施設の管理等は、適正に行われている。特に利用者サービスと事業の広報活動への取り組みは、高く評価できる。
利用者満足度の向上度	A	利用者からの要望を取り入れた様々な自主事業を実施することにより、高い水準の満足度を維持しており、高く評価できる。
財務状況の適正性	A	収支はほぼ一致しており、選考委員会において、本体の経営状況にも特段の課題はない。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における「評価」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「」もしくは「」がつき、「」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「」もしくは「」がつき、「」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「」である。
- C: 「」と「」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「」と「」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における「3 指定管理者の団体本体の経営状況」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
 - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグループングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能と

5 施設所管課による総合評価

<p>コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天候等の影響により、成果指標であるポニー乗馬の利用者数は減少しているものの、ポニープログラムの満足度は大幅に上昇している。また、利用者ニーズを反映した事業を数多く実施することにより、施設全体の利用者の満足度も高水準を維持している。 ・告知の方法を工夫したこと等により、全体的に事業の参加者数が増加している点も高く評価することができる。 ・施設の老朽化が進む中で、積極的に自主修繕等を実施しており、利用者からの評価につながっている。 ・今後も利用者の意見を柔軟に取り入れ、さらなるサービスの拡充を図ってほしい。
-------------	--

6 指定管理者選考委員会による評価

<p>評価実施日</p>	<p>令和1年7月31日</p>
<p>コメント</p>	<p>・自主事業の参加者数等を見ても、利用者のニーズに合わせた管理運営をしていることが分かる。引き続き適切な管理運営を実施してほしい。</p>